

2010年3月3日

ヘルメット内温度 約3℃低減
硬式野球用バッティング・ヘルメット「2HA-188型」発売

ミズノでは、外装と内装材との間に断熱材を用いることでヘルメット内温度を約3℃低減*できる硬式野球用バッティング・ヘルメット「2HA-188型」を3月10日より全国のミズノ品取扱店で発売します。

※ ヘルメット上1.2mの高さから陽光ランプ16灯を照射する実験による性能評価に基づく結果

バッティング・ヘルメットは競技者の頭部保護の目的から、しっかりとした外装、衝撃を緩和する緩衝材を用います。しかし、安全性確保のために重厚な作りにせざるを得ず、ヘルメット内の温度が高くなることは課題でした。

今回発売するヘルメットは、外装と内装材の間に軽量かつ断熱性に優れた特殊断熱シートを用いた「ヒートプロテクション構造」により、ヘルメット内温度を下げることに成功しました。(特許出願中)

また、このヒートプロテクション構造を採用した軟式用ヘルメット、ソフトボール用ヘルメットを同じく3月10日に、硬式用ヘルメット(つや消しタイプ)を4月10日に発売します。



硬式野球用バッティング・ヘルメット「2HA-188型」

9,450円(税込み)

硬式野球用バッティング・ヘルメット「2HA-188型」商品特長

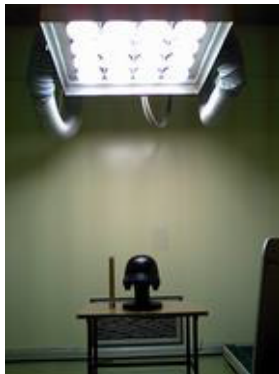
① ヒートプロテクション構造

一般的なヘルメットは、外装材（素材名：変性ABS樹脂）、内装材（素材名：ポリスチレンフォーム）の二重構造です。今回発売するヘルメットでは、外装材と内装材の間に軽量かつ断熱性に優れた特殊断熱シートを挟み込むことで、ヘルメット全体の重量増加を抑えつつ、ヘルメット内温度を約3℃低減させることに成功しました。

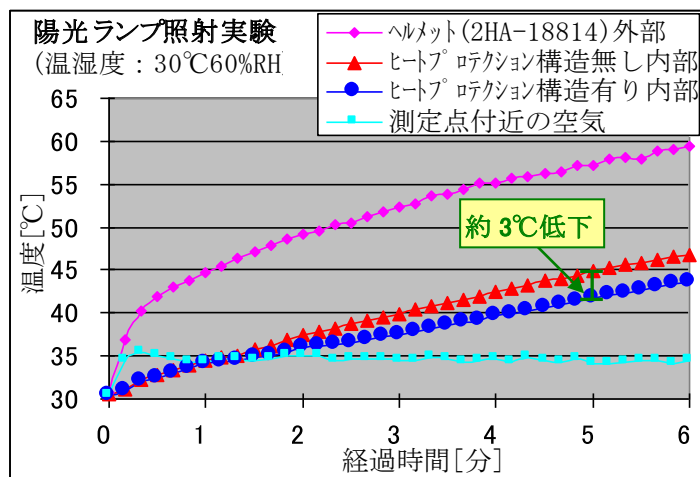
② ヘルメット内温度の変化について

真夏の炎天下でのヘルメットの外部表面温度60℃を再現した条件である「ヘルメット上1.2mの高さから陽光ランプ16灯を照射する実験」の結果、ヒートプロテクション構造の有無によりヘルメット内温度に約3℃の差異が見られました。

【実験の様子】



(ミズノ株式会社 商品開発本部)



③ 安全性・通気性・デザイン性に優れた軽量設計

メインターゲットとなる高校生の意見、安全性向上のための補強形状などを取り入れたデザインです。イヤーフラップ部（耳を覆う部分）は、ほぼ骨付近を保護した上でバッティング時の視界を確保しました。また大型通気穴の採用で、安全性と通気性を両立させた軽量設計です。旧モデル(品番：2HA-166)との比較では、重量約14%の軽量化、通気穴面積は約30%拡大が実現できました。（意匠登録出願済）

記

商品名：硬式野球用バッティング・ヘルメット「2HA-188型」

価格：9,450円（税込み）

素材：変性ABS樹脂、ポリスチレンフォーム など

色・サイズ：ネイビー、ブラック、ホワイト・XO、O、L、M、S

原産国：中国

販売目標：50,000個（発売から1年、軟式用・ソフトボール用含む）

（マスコミのお問合せ先）

東京広報課 高橋・木水 TEL. 03-3233-7037

大阪広報課 薬師寺・植田 TEL. 06-6614-8373

TEL

（ユーザーのお問合せ先）

ミズノお客様相談センター

0120-320-799

※ミズノ・インターネット情報は<http://www.mizuno-ballpark.com/>